

製品名: NLRX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14747**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	NLRX1
別名	NLR family member X1 (Caterpillar protein 11.3;CLR11.3;Nucleotide-binding oligomerization domain protein 26;Nucleotide-binding oligomerization domain protein 5;Nucleotide-binding oligomerization domain protein 9)
遺伝子 ID	79671.0
SwissProt ID	Q86UT6
免疫原	抗血清はヒト NLRX1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 581-630

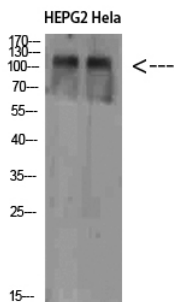
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は NLR ファミリーのメンバーであり、ミトコンドリア外膜に局在する。コードされるタンパク質は、ミトコンドリアの抗ウイルス応答の調節因子である。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 3 つの転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2013 年 8 月]、機能: 抗ウイルスシグナル伝達に関与する。ウイルス誘導性の RLH (RIG 様ヘリカーゼ) -MAVS 相互作用を阻害することにより、MAVS を介した抗ウイルス応答の負の調節因子として作用する (PubMed:18200010)。NF- κ B および 1 型インターフェロンシグナル伝達経路に対する阻害作用はないが、活性酸素種の産生を介して NF- κ B および JUN N 末端キナーゼ依存性シグナル伝達を促進する (PubMed:18219313)。,配列注意: Trp として翻訳される。配列注意: 翻訳 N 末端が延長されている。類似性: NLRP ファミリーに属する。類似性: 1 つの NACHT ドメインを含む。類似性: 4 つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含む。サブユニット: MAVS と相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現する。乳腺、心臓、筋肉で最も強く発現する。HELA、293T、THP-1、HL60、RAJI、および JURKAT 細胞株で検出される (タンパク質レベル)。

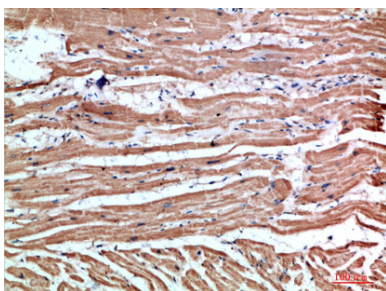
研究分野

RIG-I 様受容体

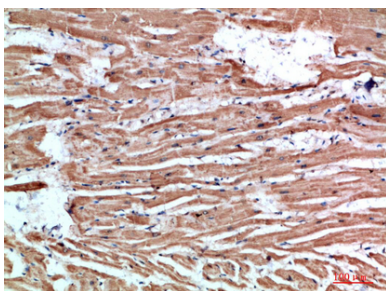
画像データ



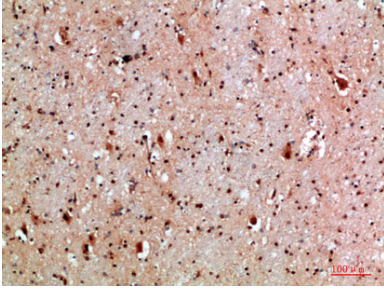
NLRX1 ポリクローナル抗体 (1:1000 希釈) を用いた HEPG2 Hela 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



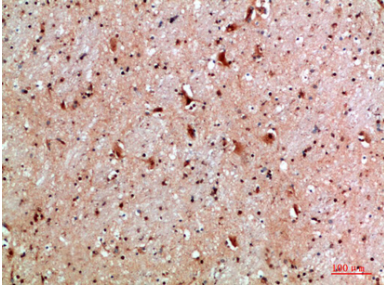
パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された